

ハイブリッド | 参加費無料

オンライン または 京都大学桂キャンパス桂ホール

2022.11.25 FRI 13:00

# 第3回光量子センシングワークショップ

～ 進展する光量子センシング ～

「急激に展開する、光量子センシング —基礎とその現状—」 竹内 繁樹(京都大学)

「上方変換を用いた赤外域のフォトンカウンター」 田中 耕一郎(京都大学)

「超伝導ナノワイヤ単一光子検出器の基礎と中赤外域光子検出への応用」 寺井 弘高(情報通信研究機構)

「光量子センシングに利用される量子もつれ光源」 徳田 勝彦(島津製作所)

## ■ 招待講演

「超高速光強度揺らぎを活用した新しい光センシング」 衛藤 雄二郎(京都大学)

京都大学・竹内研究室バーチャルラボツアー  
「量子赤外吸収分光装置」、「量子光干渉断層撮影装置(量子OCT)」

※オプション企画 (希望者のみ)

京都大学・竹内研究室 光学実験室のリアル見学

量子技術を利用した計測・センシング技術は近年大きな注目を集めています。2018年に始まった文部科学省による「光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)」の基礎基盤研究グループの活動の一環として、産業界や大学等の若手研究者・技術者をはじめ幅広く光量子センシングに理解を持って頂くために本ワークショップを毎年実施しています。第3回目となる今回は、「進展する光量子センシング」のテーマで、この1、2年で急激に展開する光量子センシングの基礎から量子もつれ光源、赤外光子検出に関する本グループの最新の研究などを紹介いたします。ご参加を検討いただければ幸いです。

主催 京都大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 応用量子物性分野、京都大学 光量子センシング研究拠点

共催 京都大学産官学連携本部、京都大学オープンイノベーション機構、京都大学学術研究支援室、京都大学大学院工学研究科、京都大学卓越大学院プログラム 先端光・電子デバイス創成学、京都大学 未来を創る先端量子技術フェロースhip、株式会社 TLO 京都、公益財団法人 京都高度技術研究所 (予定)

後援 公益社団法人 応用物理学会、公益社団法人 日本分光学会、一般社団法人 日本赤外線学会 (予定)

連絡先：京都大学 光量子センシング研究拠点 加賀田 075-383-2289 Email: ku-qleap-ws@qip.kuee.kyoto-u.ac.jp

締切：11.22 TUE

定員：80名(現地)、300名(オンライン)程度 定員になり次第、申し込みを締め切ります。



〔イベント詳細と申込み〕 <https://photonsensing.org/irqas/workshop/seminar03.html>